

# JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター  
The Japan Center for Michigan Universities

No. 45  
2007 冬

## Director's Report

Paul B Reagan

Director of The Japan Center for Michigan Universities

It is hard to believe that another semester is coming to a close. The students were as busy as ever this semester with their intensive study of Japanese, field trips, and other courses. Some of the highlights included participation by some of our students in the 7th annual Ekiden 100 kilometer relay race around Lake Biwa. Before the race, the students were able to take time to visit Ishiyamadera in Otsu, which will soon celebrate the 1000th anniversary of the writing of the Tale of Genji by Lady Murasaki Shikibu. Several students are taking a class in traditional Japanese woodblock printing and were able to visit specialists in Kyoto where in the studio the students practiced their skills. Another highlight was a visit to the battlefield of Sekigahara, not far from Hikone.

There was an unprecedented turn out for our annual Halloween and Thanksgiving dinners. More than 120 children, parents and JCMU students dressed in a variety of costumes explored the "haunted house" and then went trick or treating through the JCMU Residence.

The Prefecture of Shiga held its annual Environmental Expo in October and several JCMU students volunteered in greeting visitors at the Michigan booth.

With only a week to go, the students are preparing for final exams, papers and presentations. We wish all a very happy Holiday season and look forward to a new year, new students and a new semester.



ポール B レーガン

ミシガン州立大学連合日本センター所長

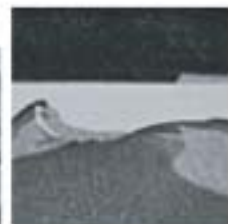
もう今学期が終わりに近づいているとは信じられないくらいです。学生たちは今学期も日本語の勉強に励み、校外活動などで忙しくしていました。特筆すべきこととしては、まず、第7回びわ湖100km駅伝への参加が挙げられます。駅伝の前に、大津市の

石山寺を訪れることができました。石山寺は、紫式部が源氏物語を書いてからもうすぐ記念すべき1,000周年を迎えます。また、日本の伝統的な木版画の講義を取っている学生は、京都の作家の工房を訪ね、手ほどきを受けることができました。彦根から遠くない関ヶ原の古戦場を訪れたことも素晴らしい経験になりました。

今年のハロウィーンと感謝祭のディナーは例年に増してすばらしいものでした。子供たち、保護者の皆様、そしてJCMUの学生、総勢120人以上が、様々な衣装に身を包み、「お化け屋敷」を探検して、「おやつをくれないといたずらをするぞ」と言いながら、JCMUの宿舎でトリック・オア・トリートを楽しみました。

10月に滋賀県が主催した環境ビジネスメッセでは、JCMU学生もボランティアとして参加し、ミシガンのブースで来訪者の応対に当たりました。

残すところあと1週間となり、学生たちは期末テスト、レポート、日本語発表会の準備をしています。皆様、どうぞ良い休暇をお過ごしください。私たちは、新年、新しい学生、そして新学期を楽しみにしています。



## ～公開講座～

当センターでは、一般の地域の方々を対象とした特色ある公開講座を1991年から開催しています。今回は、この秋に開催した3回の公開講座の概要をお届けします。

2007年9月13日(木) 13:15～14:30

第57回 「Japan's relations with the U.S. and Michigan」(英語)

講師： 在デトロイト総領事 篠塚保氏



在デトロイト総領事の篠塚氏には、来日された機会に、特別に講演を行っていただきました。当センターの留学生にとっても、一般の聴講者の方々にとっても、現役の外交官の話は大変新鮮だったようです。

以下は、講演の一部です。

日本外交には、4本の柱があります。1つ目が日米関係です。日米両国は、1853年にペリーが捕鯨のために浦賀に寄港して以来、様々な出来事がありましたが、今日に至るまでに密接な関係を築いてきました。例えば、昨年1年間でアメリカを訪問した日本人は400万人、日本を訪れたアメリカ人は70万人に上ります。現在海外に居住する日本人は100万人いますが、このうち3分の1の35万人がアメリカに在住しています。日米関係は日本にとって非常に重要です。2つ目がアジア近隣外交です。ODA(政府開発援助)などを通して、日本は戦後アジア近隣諸国のために特別の努力を払ってきました。3つ目が国連を通じての世界平和への貢献です。常任理事国入りは果たしていませんが、日本は世界で2番目の資金拠出国です。4つ目が、「自由と繁栄の弧」です。

さて、ミシガン州についてですが、やはり日本との結びつきは強く、現在1万人以上の日本人が在住しています。かつて、永井荷風が住んでいたこともありましたが、400余りの日本企業が進出していて、3万8千人の雇用を作り出しています。滋賀県とは姉妹提携をしています。ミシガン州内と滋賀県内の市町村との間には、彦根市とアナーバー市など13の姉妹提携都市があります。2008年は、滋賀県とミシガン州とが姉妹提携をして40周年になります。このように、日本、滋賀県とアメリカ、ミシガン州との結びつきは大変強く、これまで良好な関係を保ってきました。今後とも、この関係を保ち、共通の課題に取り組んでいくことが重要です。

2007年10月21日(日) 15:00～17:00

第58回 「マーケティングの新しい波をとらえる」(日本語)

講師： 神戸大学大学院 栗木准教授、東口氏(化粧品メーカー)、宮本氏(ガス会社)、田中氏(放送局)



大手民間企業で働きながら神戸大学MBAコースで研究をされている3名の大学院生と栗木准教授を講師にお招きし、マーケティングの最新事情をお聞きしました。聴講者の中には初めて当センターに来られた方も多くおられましたが、身近な話題を採り上げた研究発表に熱心に耳を傾けておられました。

最初に、栗木先生から、今後ますます嗜好が多様化し、これまでの大型均質市場が崩壊して、市場が細分化されていく中で、企業はどのように消費者のニーズを捉えていこうとし

ているか、緑茶飲料や住宅展示場などの具体例を挙げながら、「売れる仕組み作りの構築」についてお話をしました。

次に、東口氏からは、近年、実年齢よりも若く見せるための商品への需要が高まっている状況や、これに対してメーカーが新製品を開発して対応している状況を、シャンプーを事例に挙げて紹介してくださいました。やはり、髪は若く見られるためのポイントのようです。

次に、宮本氏からは、マーケティング手法の1つとしてインターネットの活用が拡大する中で、メーカー、流通、サービスという業界間で、ホームページ運営の狙いなどのような違いがあるのか、インターネットの活用已成功している企業にはどのような特徴があるのか、企業へのアンケート集計の分析結果をもとに、解説してくださいました。

最後に、田中氏からは、野球人気が低迷する中で、地元密着で成功しているいくつかの球団の事例を挙げ、それぞれの球団ごとの戦略の違いについて解説してくださいました。一口に地元密着と言っても、親会社の業態や経営方針によって、よく分析すると、その戦略が異なっていることに驚かされました。

2007年11月23日(金、祝) 14:00～16:00

第59回「真善美～阿部次郎と和辻哲郎」(日本語)

講師：当センター所長 ポール レーガン

ケンブリッジ大学大学院で近代日本史を研究した当センターのポール・レーガン所長が、戦前の近代日本思想の一端について講演をしました。以下は講演の一部です。

明治時代には西洋から多くのことを学びましたが、外国から学ぶだけではなく、日本人が自ら考えるようになったのが大正時代でした。そのような時代に、阿部次郎が、教養や人格の大切さを説きました。もの自体に価値があるのではなく、その価値は人間が与えるものです。だから、教養や人格が大切になります。教養とは、「自己をかたちづけること」、さらに「人生をかたちづけること」。教養、更に人格のある人を育てるのが教育者の責務です。

アメリカ人の講師から日本の思想についての講座を聴くというのも、この国際化の時代を象徴することのように思われます。今こそ古き良き日本を見直すべきときかもしれません。短い時間ではありましたが、阿部次郎らの思想に触れることができ、考えさせられました。



レーガン所長の講演の終了後には、カラマズー美術学校教授でJCMU非常勤講師のメアリー・プロドベック先生が、木版画の見方、制作方法について、説明や実演をしてくださいました。プロドベック先生は、日本で木版画について学んだ後、ミシガン州に戻り、五大湖をテーマに制作活動をされてきましたが、現在、再度来日して、JCMUの学生に木版画を教える傍ら、琵琶湖をテーマにした制作に取り組んでおられます。日本の木版画がアメリカの風景と出会い、新しい芸術となってまた日本に帰ってきました。どんな作品ができあがるのか、楽しみです。(表紙の版画は全てプロドベック先生の作品です。)

この秋の公開講座は、国際関係、マーケティング、思想・芸術と多彩でした。限られた時間ではありましたが、聴講者の皆様にとって、気づきや出会いの場になっていれば幸いです。JCMUが地域社会に少しでも貢献できるよう、今後とも魅力ある公開講座を開催しますので、皆様是非お気軽にお越しください。



《びわ湖男女駅伝》

私は、ミシガン連合(Michigan United)チームの補欠として、びわ湖男女駅伝に参加しました。びわ湖男女駅伝は日本最長の市民駅伝で、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールから伊香体育館まで12区間100.1kmで開催されました。

私たちは、前日の朝にJCMUを出発し、大津市に到着後、石山寺を観光しました。紅葉が美しく、感嘆の声があがりました。午後には、ホテルから近江神宮までランニングを行い、必勝を祈願しました。レース前日ということで、留学生たちと走っていると、土気の高まりが感じられました。駅伝当日は、AM 5:30にホテルのロビーに集合し、出発の準備をしました。その後バスに乗り込み、それぞれの区間のスタート地点でランナーを送り出しました。緊張した面持ちの人、楽しんでいる人、それぞれが、様々な想いを胸に、バスを降りていきました。レース後は、どのメンバーも全力を出し切った様子で、清々しい表情をしていました。お互いに支えあい、充実した2日間を過ごすことができました。

(英語講座受講生 小野翔子)



夕陽を見に来てください。

先日、公開講座のあと、参加者の方とアップルホールでお話をする時間がありました。

その時です。とてもきれいな夕陽が日本庭園の向こうに広がる琵琶湖に沈んでいきました。

この季節、アップルホールから夕方には静かに沈んでいく夕陽を眺めることができます。

柔らかで、暖かなその光は、そっと心を包み込んでくれます。

一人静かに、時には詩人の気分で…

JCMUまでお越しください。

でも、おしゃべりの好きな方は是非コーヒーアワーにお越しください。お待ちしております。(く)

(コーヒーアワーについて、詳しくはホームページをご覧ください。)



2008年度 行事予定

1/7 月 英語プログラム(冬季)開講

2/29 金 第60回公開講座(彦根)

3/14 金 第61回公開講座(大津)

3/21 金 第62回公開講座(彦根)

4/16 水 英語プログラム(春季)開講

4/19 土 日本語・日本文化プログラム/  
英語プログラム(冬季)修了式

《春季英語プログラムご案内》

開講期間 2008年4月16日(水)~7月8日(火)

場所:ミシガン州立大学連合日本センター  
(彦根市松原町(彦根プリンスホテル南隣))

**英語集中コース** 月~金 10:00~12:00 13:10~15:10  
留学・進学・就職・自己啓発のための英語総合力アップを図るコースです。午前中のみ受講できるモーニングコースもあります。

＊アメリカからの留学生向け付属寮にルームメイトとして入寮できます。

**スキル・テーマ別コース** 週1~2回 10:00~12:00 13:10~15:10  
「マルチスキル」「スピーキング・リスニング」など目的・時間にあわせて実力アップを図るためのコースがあります。

**夜間コース** 月・木 週2回 19:00~20:30  
実用英会話ブラッシュアップのための夜間コースです。

●申込締切 2008年3月25日(火)

大津コースのご案内

開講期間:2008年4月16日(水)~7月9日(水)

〈大津マルチスキル〉 毎週水曜日 14:00~16:00

〈大津夜間コース〉 毎週水曜日 19:00~20:30

場所:ピアザ淡海(大津市におの浜一丁目)  
(びわ湖ホール東隣)

申込締切:2008年3月25日(火)

ホストファミリー募集

当センターでは、アメリカ・ミシガン州を始め全米から来日している留学生のホストファミリーを募集しています。一人でも多くの留学生がホームステイを体験できるようご協力いただければ幸いです。

ミシガン州立大学連合  
日本センター

〒522-0002  
滋賀県彦根市松原町網代口1435-86  
TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356  
URL <http://www.jcmu.net>  
■編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所